

2019年度 デザイン系PBL タイ キングモンクット工科大学トブリ校







異文化交流を改めて実感。
住んでいる世界の狭さを知りました。

デザイン工学部 デザイン工学科 2年
蒲朋恵さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先：タイ・KMUTT

gPBLに参加するのはこれが3回目です。1回目、2回目共に韓国の大学とのPBLでしたが、このgPBLにはタイ、台湾、インドネシアの学生が参加しており、それぞれの国ごとに、異なった文化、考え方があることをこのプログラムで再認識しました。

プログラムのテーマはstreet vendingだったので、ワーク中まずはそれぞれ自国のstreet vendingについて意見交換を行いそれぞれのstreet vendingの考えを鮮明にしようと思いましたが、これがなかなか難しかったです。各々の国でstreet vendingの内容が微妙に異なっていたからです。広場の中でやるマーケットもstreet vending だと言う国の学生もいれば、それはもはやマーケットであり、street vendingではないという国の学生もいました。これはそれぞれ住んでいる環境が異なるためにおこる認識の違いだったと思います。

またデザインの考え方もやはりそれぞれ異なっており、ある国の学生が提案するアイデアはほかの国では普通であったり、このアイデアはタイの人には受け入れられないものであると言われたり、何度も何度も意見交換しました。このような意見の違いが出ることで、考えの違いが全て面白く、新しい考え方に触れることができ嬉しかったです。

このようなワークを通し、私は今回のgPBLで本当の意味で異文化交流ができたと思います。それぞれ異なる考え方をまずは理解し、尊重し、考慮してデザインを考えるというとても良い経験ができました。この経験を今後生かしていけたらいいと思います。

ハードなPBLでしたが、それを乗り越えたときはとても安堵しました。またハードな分、自分のグループの人ととても仲良くなることができ、とても価値のあるPBLになりました。また他のPBLにも参加したいです。



英語が苦手でも海外の学生と楽しい時間を
過ごすことができました

デザイン学部 デザイン学科 2年 武川 祐香さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否 : 可 ・ 不可

派遣先: タイ・KMUTT

今までは海外に対し興味がなく、gPBLに参加することは考えたことがありませんでしたが、最近では自分が普段住んでいる場所以外の環境を体験してみたいと思う気持ちが強くなっていったことと、今回のPBLのテーマである「Street Vending」と「路上販売の新たな可能性を考えてデザイン提案を行う」という内容に惹かれ、gPBLへの参加を決意しました。

現地では、フィールドワークとして実際にタイで路上販売が盛んなエリアを何か所か観光しに行くことができました。タイの学生にタイの路上販売や食事、土地について説明をしてもらいながら観光をすることで、タイの文化をより理解することができ、移動手段に困ることもなく安心して観光することができました。学校にいる時間は、フィールドワークの時に実際に自らの目で見たり体験したことをふまえて、タイ、台湾の学生とグループを組み、グループでタイの路上販売について考えていきました。

全員が英語を使って会話するため、英語が非常に苦手な私は、他の学生と意思疎通をとるのにとても苦労しました。普段の会話は低い英語力でも楽しむことができますが、ディスカッションの場では、英語を聞き取れないことや喋れないことが大きな壁になり、思うようにディスカッションできないことに対し、申し訳ないと思ったり、もどかしく思うことも多かったです。しかし、英語ができる日本の友人に助けをもらったり、文字やイラストで自分のアイデアを表現して理解してもらったりなど、試行錯誤を繰り返すことで、グループで納得のいくデザイン提案を行うことができました。この経験を通して、諦めずにものごとに取り組む姿勢を育てることができました。

タイでのgPBLを通し、海外の学生、日本の学生共に仲を深めることができました、さらに、海外で様々なことを経験したり友人ができたことで、今までよりも視野が広まったと感じています。英語力があればgPBLをもっと豊かなものにできたと思うため、英語の勉強に励もうと思うことができました。



英語での話し合いによる語学力の向上だけでなく、タイならではの様々な経験ができました！

デザイン工学部 デザイン工学科 2年
原 誠太郎さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先：タイ・KMUTT

今回プログラムに参加したきっかけとしては、もともと海外渡航をしたかった上に、gPBLであれば他国の学生と交流する機会がたくさんあり、いい刺激になると考えたからです。

滞在中は基本的に朝から夕方まで大学でグループワークをしていましたが、今回のプログラムのテーマが路上販売だったので大学でのグループワークが終わった後も、何か新しい発見がないかと現地のナイトマーケットに行ったりと、グループのメンバーと一緒に行動する事が多かったです。マーケットでローカルフードと一緒に食べる際には、今回のテーマとは関係ない日常会話をしたりと英語でコミュニケーションをする良い機会になりました。自分のグループは日本人が自分一人だったので、必然的に英語でコミュニケーションをすることになり、自分の語学力の未熟さを体感しました。またグループワークが進んでいくにつれて、各国の学生のデザインに関する考え方の違いなども自然と感ずることができて、視野を広げるための良い機会となりました。

グループワークのみならず、タイでの生活やマーケット訪問は、自分にはとても新鮮で刺激的な経験となりました。このような経験はデザイナーに求められる広い視野や柔軟な発想力を培う上で、とても良い機会であると感じたので、これからも異文化体験や他国学生との交流ができるようなチャンスがあれば、積極的に挑戦したいと思います。また、今回のプログラムで語学力に課題を感じたことから、英語学習へのモチベーションが高まったので、学習成果が点数で明確にわかるTOEICは今後も継続的に受験しようと思います。



海外の文化に触れて視野が広がりました！
現地で出会った友達との交流でたくさんの思
い出ができました。

デザイン工学部 デザイン工学科 2年
芳賀鞠佳さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： タイ・KMUTT

日本とは違う環境で“デザイン”について考えてみたいと思い、今回このプログラムに参加しました。このグローバルPBLでは現地のタイの学生のみならず台湾の学生(予定では韓国の学生)とも交流ができ、様々な文化からの考えを共有できるのも参加したいと思った一つの理由でした。

学校ではタイ・台湾・日本の学生混合で6・7人のグループに分かれて活動していました。滞在期間中は、毎日10時に大学に集合し、日によっては大学でグループミーティングをした後にグループ別でフィールドワークに行きました。今回のテーマが“street vending”であったため、フィールドワークでは様々なマーケットに行き街や人々の様子を観察しました。そこで気づいたことや思い浮かんだアイデアを次の日にみんなで共有して自分たちのコンセプトなどを明確にして進めていきました。日常生活ではスムーズに会話できても、デザインについて議論する時にはうまくニュアンスが伝わらなかつたり表現できなかつたりと言語の壁に悩まされることもたくさんありました。でも、みんなで協力して試行錯誤し、最終的にはいい経験になりました。

10日間を通して一番感じたことは、生活環境の違いです。デザインをするにあたって、国によって価値観が異なりいいと思う着眼点の違いが生まれ、いろんな視点があるなと感じました。それだけではなく、人の温かさやパワーなども感じました。発展している日本の環境とはまた違った土地でデザインについて考える機会があつて、とても勉強になりました。これからももっと自分の視野を広げるために、ほかのグローバルPBLも参加して行きたいと思います。